

Doc.No : NR020619

2002年6月19日

台湾に新会社を設立し、半導体・FPDビジネスを拡大

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：石田 明)は、7月1日、台湾の半導体・フラットパネルディスプレイ(以降、FPDと略す)メーカー各社の設備増強に対応して当社100%子会社「Dainippon Screen Electronics (Taiwan) Co., Ltd.(大日本スクリーン・エレクトロニクス・台湾)」を設立し、半導体・FPD製造装置の販売活動を強化します。

新会社設立に伴い、現在、印刷関連機器、半導体製造装置、FPD製造装置、およびプリント基板製造装置の販売・サービスを行っているDainippon Screen (Taiwan) Co., Ltd.(1990年1月設立)から、半導体・FPD製造装置の販売促進活動と技術サービスを行う事業を分離独立させます。これは、半導体・液晶の市況変動に対応してスピーディーに事業展開する半導体・液晶メーカーのニーズにより迅速に応えるとともに、先端技術導入のパートナーとしてより強固な信頼関係を構築していくことを狙っています。

このため、新会社は半導体・FPDメーカー各社の工場が集中する新竹(シンチュウ)市科学園区の隣接地で操業している半導体・FPD機器のテクニカルセンター(1998年11月開設、建設・設備費約10億円)を本拠地とします。また、1999年10月、台南県にオープンした「台南サービスセンター」を第2拠点、2000年9月に台北近郊に開設した「林口カスタマーセンター」を第3拠点として、それぞれ台南科学園区と台湾北部の半導体・FPDメーカーに対する技術サービスを強化します。

新会社は、顧客へのきめ細かい対応やより品質の高い技術サービスを提供するため、今年度末までに営業系および技術系社員十数名の増強を図ります。これにより、大日本スクリーングループは台湾市場における半導体・FPD製造装置の売上を、3年後をめどに現在の1.6倍にするとともに、装置シェアの拡大を目指します。



新会社「Dainippon Screen Electronics (Taiwan) Co., Ltd.」の本拠地(新竹テクニカルセンター)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

■新会社の概要

社 名 : Dainippon Screen Electronics (Taiwan) Co., Ltd.
(大日本スクリーン・エレクトロニクス・台湾)

所 在 地 : 新竹市高翠路311号

設 立 : 2002年7月1日

資 本 金 : 2億15百万NTドル(円建て換算 : 8億78百万円)
(大日本スクリーン製造株式会社の100%子会社)

代 表 者 : 藤本 泰義

社 員 数 : 84名

主 な 業 務 : 台湾市場における半導体・FPD製造装置の販売と技術サービスの提供

サービスセンター : 2カ所(台南、台北)

* 新竹テクニカルセンターは、半導体・FPD製造装置のショールームやトレーニング室などを設け、顧客へのデモやサービス要員の教育などを行う。規模は敷地約1,300平方メートル、のべ床約2,000平方メートル、RC造3階建。

* Dainippon Screen (Taiwan) Co., Ltd.

1990年に大日本スクリーンの子会社として設立。当初は、印刷・製版産業向け機器の販売・保守サービスのみを行う。1995年以降、当社の半導体・FPD液晶製造装置およびプリント基板製造装置の販売やサービス事業を順次手掛ける。2002年7月1日付で、販売活動を印刷・製版産業向け機器およびプリント基板製造装置の販売・保守サービスに特化するとともに、Dainippon Screen Electronics (Taiwan) Co., Ltd.の100%子会社とする。
所在地 : 台北市、社長 : 河合賢治、資本金 : 3,000万NTドル、社員数14人(2002年3月末)